

きんめだい太平洋系群



評価対象種：キンメダイ（伊豆諸島海域）

令和7年4月

資源の水準と動向「高位・横ばい」

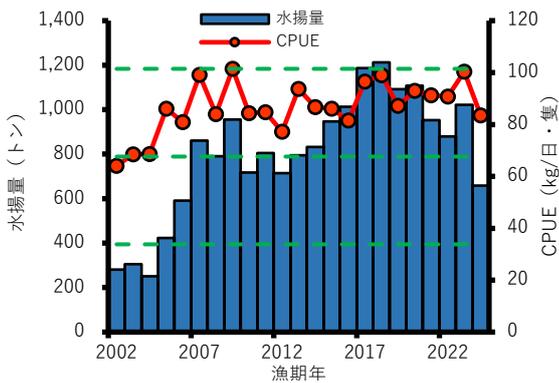


図1 水揚量と CPUE の推移

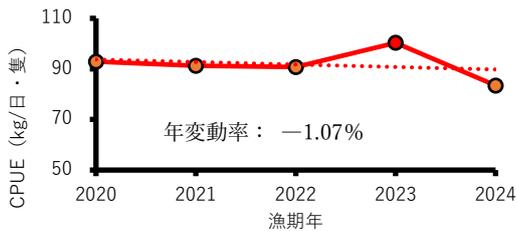


図2 底魚一本釣り CPUE の年変動率

2002 年以降、伊豆諸島でのキンメダイの水揚量は徐々に増加し、2016 年には初めて 1,000 トンを超えた。2018 年には最高の 1,214 トンを記録したが、その後減少し、2024 年には 658 トンと近年では低い値となった。CPUE（底魚一本釣り漁業で 1 日 1 隻あたりの水揚量。他県船は含まず）は、2009 年に最大値の 101.4 kg/日・隻を記録した後、増減を繰り返し、直近 5 年間は 83.5～100.3 kg/日・隻で推移している。（図 1）。

本資源評価票での資源量指標値は CPUE とした。2024 年における資源の水準は、CPUE が最大値となった 2009 年の 101.4 kg/日・隻の 2/3 以上である 83.5 kg/日・隻のため「高位」とした（図 1）。

資源の動向は、直近 5 年間の CPUE から算出した年変動率が -1.07 % であり、年間 ± 5 % 以上の増減でないため「横ばい」とした（図 2）。

生態学的特性

- 分布・回遊：東京都では伊豆諸島から小笠原諸島及びその周辺の海山に分布する。伊豆諸島北部海域で放流されたキンメダイの多くはその後同海域内に留まることが多い¹⁾。
- 年齢・成長：尾叉長は満 1 歳で 15～17cm、3 歳で 25～28cm、5 歳で 32～35cm、10 歳で 38cm 前後²⁾。
- 成熟・産卵：生物学的最小形は 4～5 歳で尾叉長 31.8cm³⁾、産卵期は 6～9 月。
- 被捕食関係：ハダカイワシ類などの魚類やエビ類、イカ類を捕食する⁴⁾。また、イルカに捕食されることが知られている⁵⁾。

東京都におけるキンメダイ漁

- 漁業：周年漁獲される。東京都海面では他県船も交え入会操業となっている。
- 漁法：底魚一本釣り及び底たてはえ縄（東京都漁業調整規則に基づき）により漁獲される。
- 管理：平成 2 年から漁業者自らが本種の資源管理型漁業に着手し、自主的資源管理（夜間操業の禁止や小型魚の再放流、漁具・漁法の制限、禁漁期間や体長制限等）を強化しながら、他県（千葉・静岡・神奈川）と協議を重ねてきた。また、新島・神津島・三宅島・八丈島では、東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を策定し、資源管理に取り組んでいる。

- 1) [小埜田 明. 2012. 伊豆諸島北部海域におけるキンメダイの標識放流結果（移動経路の解明に向けて）. 東京都島しょ農林水産総合センター平成 24 年度主要成果集,](#)
- 2) 芝田健二. 1983. 房総海域におけるキンメダイについて—1—年令と成長. 千葉水試研報, (41) : 55-57.
Massey B. R. and Horn P. L. 1990. Growth and age structure of alfonsino (*Beryx splendens*) from the lower east coast North Island New Zealand. NZ Mar Freshwat Res, (24) : 121-136.
Adachi K. · Takagi K. · Tanaka E. · Yamada S. and Kitakado T.. 2000. Age and growth of alfonsino *Beryx splendens* in the waters around the Izu Islands. Fish. Sci, (66) : 232-240.
明神寿彦 · 浦 吉徳. 2003. 高知県産キンメダイの年齢と成長. 黒潮の資源海洋研究, (4) : 11-17.
秋元清治. 2007. 伊豆諸島周辺海域におけるキンメダイの年齢と成長. 神奈川水技報, (2) : 13-19.
- 3) 秋元清治 · 久保田康子 · 三谷 勇 · 齊藤真美. 2005. 伊豆諸島周辺海域におけるキンメダイ *Beryx splendens* 雌の成熟. 日水誌, 71(3) : 335-341.
- 4) 増沢寿 · 倉田洋二 · 大西慶一. 1975. キンメダイその他底魚類の資源生態. 日本水産資源保護協会. 東京 : 46-48.
- 5) Rikiya Takahashi · Mai Sakai · Kazunobu Kogi · Tadamichi Morisaka · Takao Segawa and Hiroshi Ohizumi. 2020. Prey Species and Foraging Behaviour of Indo-Pacific Bottlenose Dolphins (*Tursiops aduncus*) Around Mikura Island in Japan. Aquatic Mammals, 46(6) : 531-541.